

こと

ね

No. 5
令和3年冬号

琴の音だより

★吉井の丘ニュース★

「琴の音だより」は吉井の丘開所当時の全職員によって名づけられました。水琴亭の水の音が琴の音に似ており、水の波紋のように人の和が広がっていくように願いが込められています。

●幹の会合同研修

令和2年10月30日と11月13日の2回に分け、職員教育の一環で幹の会3施設合同研修を開催しました。幹の会とは当法人の名称で、太田市「ケアハウスこころ」藤岡市「特別養護老人ホームライフゆうかり」高崎市「特別養護老人ホーム吉井の丘」。

講師に幹の会「駒井和子理事長」、特別養護老人ホームライフゆうかり「西村久良施設長」をお招きし、駒井理事長には「認知症について」西村施設長には「介護保険制度について」それぞれご講義いただきました。

前半の介護保険制度については、「介護保険制度の趣旨」や「要介護認定の流れ」などを学び、後半の認知症については、「認知症とは?」「認知症の種類」「認知症の方への接し方」などを学びました。研修報告書の中で、「介護保険制度について」は認定調査の評価内容が講義によって理解できました。「認知症について」は脳には局在性があり、脳の損傷個所によって認知症状が変わることを知り、認知症ケアについて改めて考え直すことができました。また認知症のご入居者様は自分が壊れていくという強い恐怖感を持っており、自分が認められなくなり不安を抱えているというお話をとても印象深かったなどの意見が聞かれました。

今回、初めて幹の会3施設合同での研修を開催ましたが、今後もこのような研修を定期的に開催し、職員一人一人が自己研鑽に励み、より良い介護サービスを提供できるよう努めてまいります。

スタッフ紹介

令和2年9月7日より、介護支援専門員（ケアマネージャー）として勤務している中島正博と申します。介護職は7年、ケアマネジャーとしては8年6ヶ月、榛名地区の病院で働いておりました。その前は他業種で住宅のハウスメーカーの営業をしておりました。介護とは違う経験ですがそれぞれの経験を生かして、ご入居者様の為にどういうケアを行ったら良いのかを熟考しています。経験上、介護の仕事はご入居者様の個別対応が大切であり、ご入居者様にあったケアを行っていく為に、計画をたてる段階で他職種とよく話し合いを行い、計画書を作成していくたいと思います。



なかじま まさひろ
中島 正博
(介護支援専門員)



社会福祉法人 幹の会



特別養護老人ホーム 吉井の丘

〒370-2131

群馬県高崎市吉井町岩崎字二子 2224-1

027-387-0918

✉yoshiinooka@grace.ocn.ne.jp

広報担当: 櫻井 黒川 松崎 関口

江野澤 松原 丸茂

特別養護老人ホーム 吉井の丘通信 令和3年冬号

ユニット紹介（ショートステイ職員担当 きんもくせい）

～きんもくせいレクリエーション～

吉井の丘「きんもくせい」ユニットはショートステイユニットとなっており、在宅で生活を送っているご利用者様、またそのご家族様を支援することを目的としています。吉井の丘ショートステイをご利用してくださるご利用者様、そのご家族様が安心してご利用いただける環境とサービスを提供していきたいと思います。



きらびとの皆さん

吉井の丘にはご入居者様のケアをする職員の他に敷地内の外観保持のため庭整備・施設内清掃や消毒の業務にあたる職員がいます。

そのスタッフを紹介します。

●庭整備（天田さん、矢野さん）



●施設内清掃・消毒（杉田さん、臼井さん）



オンライン面会中止のお知らせ

新型コロナウイルスの影響を考慮し、令和2年12月よりオンラインでの面会を実施していましたが、ご入居者様の安全を考慮の上、中止となりました。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。（令和3年1月現在）

問い合わせ担当窓口：黒川・山中・中島

特別養護老人ホーム吉井の丘
施設長 櫻井 晴恵

施設めぐり

～秋から冬へ～

吉井の丘敷地内
水琴亭のまわりの
木々の紅葉です♪



どこのユニットも
クリスマス一色です☆

